

第6回WTO閣僚会議における開発問題

—第136回 FACID Brown Bag Lunch (Jan.13, 2006) レジユメー

外務省国際貿易・経済担当大使

近藤誠一

序：長引く貿易交渉

<資料1>

1. ラウンドは何故難航するのか？

(1) 冷戦終結による自由と多様性の拡大

- 自由の拡大、「大同」の不在（「西側の団結」のくびきの消滅。共通の敵、危機の不在）透明性の拡大——競争激化——差別化による自己の主張
- 多様性：加盟国数の増大、多様性の増大（先進国の分裂、途上国も多様—後述）、多分野をカバー（農業、サービス）

<資料2>

(2) 複雑性：グローバル化がもたらした異なる理念の衝突と調整の難しさ

- 自由貿易 vs 開発（農業政策、環境政策、知的所有権、社会保障、エネルギー政策等）

“foster concurrent co-operative action at the national and international levels to strengthen the *interrelationship* between trade policies and other economic policies affecting growth and development...” (Punta del Este, 1986)

“We shall continue to work with the Breton Woods institutions for greater *coherence* in global economic policy-making.” (Doha, 2001)

- Policy coherence は何のためか？

“We agree that the Task Force, ...shall provide recommendations on how the implementation of the IF can be improved, *inter alia*, by considering ways to:....2. strengthen the IF in-country, including through *mainstreaming trade* unto national development plans and poverty reduction strategies;”(Hong Kong, 2005)

(3) グローバル化に追いつかぬ人間の知恵

- 近代合理主義（要素還元主義）の貢献としてのグローバル化——自由、多様性、複雑性
- *Interrelationship, coherence, holism* の科学的把握の遅れ（複雑系理論、ネットワーク理論は、まだ政策に使えない）
- しかし現実は待つてはくれない——誰が何をすべきか

(4) 国境（国家）の irrelevance の加速

- 世界は益々個人で繋がれていくが、国際社会は主権国家のみを正式な構成員としている限り、民主主義的になれない。
- 国家は小さすぎる：すべての問題が国際的つながりをもつ故に、国家だけでは解決できない。
- 国家は大きすぎる：多様化、細分化する個人の要望にきめ細かく応えられない。
- 国籍ではなく「利益」「趣味」で繋がった、国籍を超えたネットワークの広がり（ビジネス、NGO等の市民社会）と interaction による補完—時間がかかる。
- 国境措置（関税など）の irrelevance（インドの自動車関税：38.5%）

(5) 植民地主義の legacy-- divide and rule の恒常化

- 人為的国境 <資料3>
- 一国一品（綿花、ココア、砂糖等） <資料4>
- 特惠侵食問題
- 積年の恨み

(6) 国際関係の力学の変化

- 米国のリーダーシップの欠如と米欧の主導権争い
- 途上国の巻き返し——団結強化と、多様性の主張
ただし明確なアンチ・テーゼなし（反西欧、反先進国——Oxidentalism, 「近代の超克」との比較）。

2、WTOにおける途上国問題

<資料5>

(1) 多角的自由貿易体制に統合するための特別配慮——ドーハ・ラウンドの柱

- 先進国による市場開放——LDC無税無枠
- 途上国の自由化措置への特別配慮（S&D）
農業：関値、関税削減率、Special Products, Special Safeguard Mechanism
NAMA：2係数、パラ8
サービス：努力規定
- 特惠侵食への対処
- 個別産品への配慮（綿花）
- Coherence（世銀、IMFとの協力）
- 援助：技術協力・キャパビル、貿易のための援助(Aid for Trade)

(2) 途上国の多様性と要求の多様性

- 中進国 (ブラジル、インド、中国等)
- Small, vulnerable economies
- Low income countries in transition
- Non reciprocal preferential benefit Members
- LDCs
- その他
- G 2 0、G 3 3、G 9 0、A C P、A U

(3) 先進国間の足の引っ張り合い

- 綿花
- バナナ
- 無税無枠

(4) 日本の貢献

- 「開発イニシアチブ」
- Public diplomacy

<資料6>

<資料7>

(5) 加盟国の4/5は特別扱い——理念体系の崩壊？

- 例外 (削減率、セーフガード、実施期間)
- 努力規定
- 免責品目の恣意的決定

むすび：国際社会における意志決定プロセス、ルールづくりは如何にして効果的、効率的行われるか？